

地域連携による世代間交流に向けた取り組み ～香川大学佛生山らぼプロジェクトを事例として～

○宇野早織*¹ ・三井美乃*² ・植条美祐紀*¹ ・古川尚幸**
(香川大学経済学部生*¹ ・香川大学創造工学部生*² ・香川大学経済学部教授**)

●佛生山らぼプロジェクトとは

佛生山らぼプロジェクトは2020年10月1日に誕生した地域活性化プロジェクトであり、香川県高松市仏生山地区を拠点に活動している。仏生山は古くから門前町として栄え、現在は歴史を感じさせる古い町並みとモダンな店舗が共存する魅力ある町となっている。仏生山の歴史を踏まえつつ、新しいことに挑戦する「まちの研究室」となることを目指して、現在は25名で活動している。

仏生山の歴史を大切にしていきたいという思いから、プロジェクト名に「佛」という旧字体を使用している。



●仏生山地区が抱えている地域課題

世代間交流の少なさ

→仏生山地区コミュニティ協議会など地域の各団体がこの課題を解決するために様々な活動に取り組んでいるが、いまだに子供と大人が関わる、世代を越えた交流が多いとは言えない。

将来の地域の担い手への不安

→子供たちをはじめとする若者が将来の地域を担うのに十分な地域への関心や愛着を持っているとは言い難く、地域の魅力を感じられていない。これは、世代間交流の機会の不足だけでなく、子供や若者が地域で活動する機会の少なさが大きな原因と考えている。

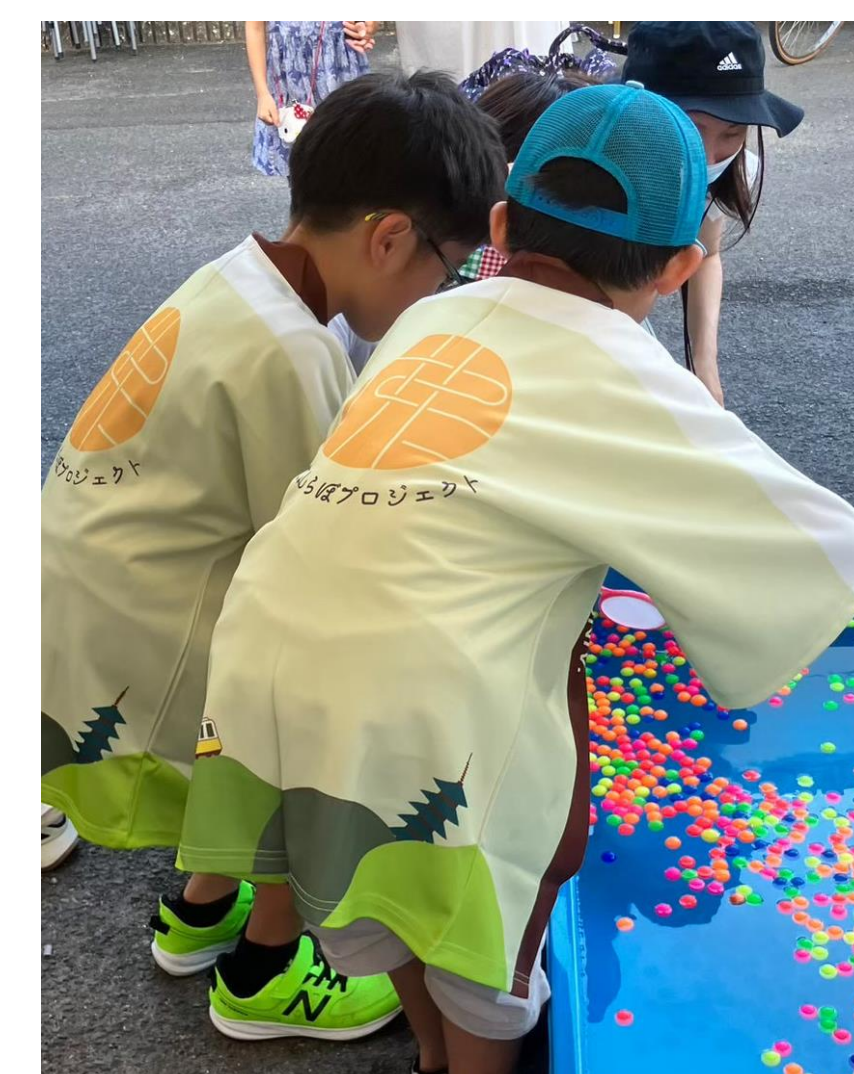
●プロジェクトの活動内容(2023年度)

➤ 仏生山こどもらぼ

月に1度、仏生山コミュニティセンターで仏生山地区に住む小学生と活動を行う。

①地域のお祭りへの参加

- ・ 仏生山で開催されるお祭りに子供たちと参加する。
 - ・ 屋台内容の案出し、準備、実施を子供たちと行う。
 - ・ 大学生は子供たちのサポートをする。
- ▶ 子供たちに学校ではできないような様々な経験をしてもらう。
 - ▶ 地域のお祭りに参加することで子供たちに地域への愛着を持ってもらう。



②仏生山まるごと動物園

- ・ 仏生山地区を1つの動物園に見立て、子供たちと制作した動物オブジェを町のお店や施設に展示する。
 - ・ 多くの方々に仏生山を歩いてもらい、もっと魅力を見つけてもらう。
 - ・ 仏生山小学校をはじめとする、全15か所に動物オブジェを設置した。
- ▶ 仏生山の町を“まるごと”動物園にすることで、町に一体感が生まれる。
 - ▶ 動物オブジェを仏生山の子供や大人、大学生が協力して制作することで世代間交流の機会をつくる。



プロジェクトのこれから

これからの活動では、子供たちとのお祭りへの屋台出店と、仏生山まるごと動物園の2つの企画を継続しつつ、より地域に根差して、より多くの仏生山地区の方々を巻き込みながら世代間交流を促進できるような活動を行っていききたい。私たち、大学生が地域に参画することで、地域の若い力になり、世代間交流の機会をつくるなど、地域の潤滑油として貢献していきたい。

香川大学佛生山らぼプロジェクト

●ご質問・お問い合わせ：

香川大学創造工学部 三井美乃 blp1001.kagawa.univ@gmail.com
香川大学経済学部教授 古川尚幸 furukawa.naoyuki@kagawa-u.ac.jp



Instagram

